

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



PTA 行事～ジャグリングの世界～を開催しました！

2月19日(水)5限目に、PTA行事を開催しました。今年は、三重大学サークル「ジャグリアーノ」をお招きし、ジャグリングのステージを開催していただきました。「ジャグリング」とは、狭義ではトスジャグリングと言って、複数の物を空中に投げたり取ったりを繰り返し、常に1つ以上の物が浮いている状態を維持し続ける技術のことでした。しかし、現在では意味が拡大され、手に保持できる程度の道具を使った、修練の必要な特殊な技能または芸のことを意味します。典型的にジャグリングとみなされる技術には、トスジャグリングのほかにはディアボロ、デビルスティックなどがあります。歴史的には大道芸、サーカスなどの曲芸としての見世物として行われてきた経緯がありますが、近年はスポーツとしての愛好者が増え、直接人に見せることを目的とせず、ジャグリングを楽しむ人も増えています。また、クラブが数多く設立され、競技会も活発に行われています。三重大学の「ジャグリアーノ」というサークルも、その1つです。

トスジャグリングは、競技人口も多く、ジャグリングの基礎といえるものです。よく使われる道具には、ボールやクラブ、リングなどがあります。

ディアボロは、中国ゴマとも呼ばれています。お椀を2個つなげたようなコマを、2本のハンドスティックに通した糸でディアボロをまわすことにより遠心力をかけ、微調整をしながら安定させ操ります。複数のディアボロを同時に操るテクニックもあります。

デビルスティックは、センタースティックと呼ばれる長い棒を、手に持った棒で扱うものです。複数のセンタースティックを同時に操るテクニックもあります。

今回は、基本的なトスジャグリングであるボールやクラブ、リングのほか、エイトリング、ポイ、シェイカーカップ、そして皿回しの披露がありました。また、デビルスティックやディアボロのステージもありました。多くの子どもたちは、「ジャグリング」という名称は知っていましたが、生で見たことのある子は少なかったようです。ジャグリングの高度な技を見た子どもたちは、大きな拍手を送ったり、応援の声を張り上げたりするなど、体育館全体が熱気に包まれていました。また、当日は、保護者の方々にもたくさん来ていただき、ジャグリングの魅力を感じ取ってもらいました。



ジャグリングのステージが終了してからは、体験会を開催していただきました。ディアボロ、ボール、皿回しの3つのコーナーが設けられると、子どもたちは、挑戦してみたいところに並んで、楽しんでいました。

「ジャグリアーノ」の皆さん、ありがとうございました。また、大変盛り上がる機会を設けていただいたPTA役員の皆様、ありがとうございました。



3年生「昔の遊び」で楽しんだよ!

2月21日(金)の2限目に、3年生が「昔の遊び」の体験を行いました。社会科の授業で「昔と今のくらしの違い」の学習をしているので、「遊び」に焦点を当ててみました。昔の子どもたちがどんな遊びをしていたのかは、子どもたちも何となくは知っていますが、実際にその遊びを体験したことは、ほとんどの子はありません。そこで、地域の方をお招きし、教えていただきながら、体験してみることにしました。

最初に教えていただいたのは、手遊びです。手遊びには、「茶摘み」や「ずいずいずっころばし」などがありますが、今回は、「東京都日本橋」と「なべなべそこぬけ」を体験してみました。ペアの子と笑顔で楽しむ姿が見られました。次に、集団遊びとして、「花いちもんめ」を2チームに分かれて体験しました。みんなで歩調を合わせるのが難しそうでした。そして、「おはじき」「お手玉」「こま回し」「めんこ」など、多くの遊びを教えていただき、子どもたちは、思い思いに挑戦していました。どの遊びも、コツをつかむのに時間がかかっていましたが、中には、自分で回したコマを、ヒモですくい上げて手のひらにのせている子もいました。最後は、みんなで紙飛行機を折り紙で折って、体育館でどれだけ飛ぶか飛ばし合いっこをしました。



今の子どもたちは、デジタル化の進んだ遊びに関心が高いので、昔のアナログ的な遊びには興味を示さない子が多いと思っていましたが、今の子どもたちは新鮮に感じていたようです。昔のアナログ的な遊びには、楽しく遊んでいる中で、手先の器用さが培われるといったよさがあります。昔からの伝承遊びも大切にしていきたいものです。

